

佐久市駒の里過疎対策プロジェクト支援金事業審査申込書

（申込先）佐久市長

年度において、佐久市駒の里過疎対策プロジェクト支援金事業を実施したいので、別紙のとおり事業計画書、収支予算書等必要書類を添えて申し込みます。

申込年月日	年 月 日	受付番号 (記入不要)	
団体名	(フリガナ)	代表者名	(フリガナ)
所在地	〒		TEL ()
担当者 連絡先 (実際に連絡 が取れる方を 選任してくだ さい)	氏名	(フリガナ)	
	住所	〒	TEL ()
	Eメールアドレス	携帯 ()	
団体設立の 目的 (主な取組 内容)			設立年月 年 月
			構成員数 人
申請 事業	名称		
	どちらかに○	新規	継続 () 回目
重点テーマ への該当	有 テーマを記載		
	無		
実施箇所			
実施期間	事業開始予定年月日 年 月 日	事業終了予定年月日 年 月 日	

事業計画書

現在の地域課題 に対する本事業 での実施内容	
対象となる人・ 範囲	
事業の効果、 達成目標 （達成目標はで きる限り数値で 示すこと）	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 記載ポイント </div> 事業の ・公益性	
詳細 （活動内容・方 法・スケジュール 等をできるだけ 詳しく、別添 資料のある場合 はその旨を記載 する）	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 記載ポイント </div> 事業の ・独自性 ・発展性 ・実現可能性 ・団体の自立 促進	
重点テーマに 該当する理由	※該当する場合のみ記入
翌年度以降の 取組	

別紙(別記様式第1号関係)

駒の里過疎対策プロジェクト支援金事業収支予算書(兼支援金額計算書)

●支出の部

(単位:円)

科目	金額	内訳
交付対象	報償費	
	旅費	
	需用費	
	役務費	
	委託料	
	使用料・賃借料	
	備品購入費	
	その他の必要経費	
	①小計	
交付対象外		
	②小計	
③合計(①+②)		

・内訳は、科目ごとに詳しく(何に〇円、単価×〇ヶ等記載してください)。

●収入の部

科目	金額	内訳
国・県等の補助金		長野県元気づくり支援金
④計		
負担金・寄付金等		
事業収入		
助成金・その他		
⑤計		
⑥合計(④+⑤)		

●支援金要望額

補助率	⑦支援金基本額 (①-④)×補助率	⑧支出-収入 ③-⑥	⑨ 支援金要望額 (⑦と⑧のいずれか少ない額、千円未満切り捨て)

※ ③-④<⑤+⑦の場合(事業収入や寄付金等の収入と交付額の合計が、事業実施に要する経費の額を上回るとき)、上回った分の金額を交付額から差し引いた額が交付額となります。

構成員名簿（非公開）

No.	氏名	役職	住所	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

別記様式第4号(6の2関係)

駒の里過疎対策プロジェクト支援金支援金事業収支決算書(兼支援金額計算書)

●支出の部

(単位:円)

	科目	金額	内訳
交付対象	報償費		
	旅費		
	需用費		
	役務費		
	委託料		
	使用料・賃借料		
	備品購入費		
	その他の必要経費		
	①小計		
交付対象外			
	②小計		
③合計(①+②)			

・内訳は、科目ごとに詳しく(何に〇円、単価×〇ヶ等記載してください)。

●収入の部

	科目	金額	内訳
	国・県等の補助金		長野県元気づくり支援金
	④計		
	負担金・寄付金等		
	事業収入		
	助成金・その他		
	⑤計		
	⑥合計(④+⑤)		

●支援金要望額

補助率	⑦支援金基本額 (①-④)×補助率	⑧支出-収入 ③-⑥	⑨ 支援金要望額 (⑦と⑧のいずれか少ない額、千円未満切り捨て)

※ ③-④<⑤+⑦の場合(事業収入や寄付金等の収入と交付額の合計が、事業実施に要する経費の額を上回るとき)、上回った分の金額を交付額から差し引いた額が交付額となります。

駒の里過疎対策プロジェクト支援金事業 自己評価報告書

		評 価 日	年	月	日
団 体 名					
事 業 名					
事業経費③	円	支援金額⑨	円		

事業の目的・内容	地域の課題
	事業内容

事業の活動実績	
---------	--

事業の様子または成果がわかる写真①

事業の様子または成果がわかる写真②

別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ）
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	
---------	--